

平成 19 年 4 月 21 日

新規大腸がんマーカー シスタチン SN の開発

— 2007 年 4 月 21 日 第 93 回 日本消化器病学会で発表 —

株式会社ペルセウス プロテオミクス(以下「ペルセウス」)は、2007 年 4 月 21 日 日本消化器病学会において、「シスタチン SN」の大腸がんの特異的マーカーとしての有用性について、横浜市立大学大学院医学研究科 分子消化管内科の中島 淳準教授および米満 恭子先生と共同で発表いたしました。

シスタチン SN は、分子量 16kDa の分泌タンパク質で、東京大学先端科学技術研究センターにおける遺伝子発現解析によって大腸がんで高発現していることが発見され、現在ペルセウスが測定系の開発を進めています。ペルセウスは、現在参画している厚生労働省医薬基盤研究所「ゲノム抗体創薬によるガンと生活習慣病の統合的診断・治療法の開発プロジェクト」(プロジェクトリーダー:児玉龍彦 東大先端研教授)において、シスタチン SN を一つのプロジェクト・テーマとして横浜市立大学大学院医学研究科と共同研究を進めています。

今回の発表では、ペルセウスの測定系を用いて、シスタチン SN の血中濃度と病態との関連を解析した結果、シスタチン SN は大腸がん、特に進行性大腸がん患者の血中濃度が健常人の血中濃度と比較して有意な高値を示すことが認められました。

また、シスタチン SN は既存マーカー CEA および CA19-9 との比較においても、大腸がんの有無の判別において優位性が認められ、かつ現段階では、年齢および性別に有意な差も認められず、有望な新規大腸がんマーカーとなることが期待されています。

今後は、より症例数を増やし、シスタチン SN の大腸がんマーカーとしての有用性を確認するとともに、シスタチン SN の発現メカニズムを明らかにするための研究を進めてまいります。

以 上

■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社ペルセウスプロテオミクス
事業開発部

www.ppmx.com

Tel: 03-5738-1705

E-mail: irpr@ppmx.com